

Adobe®

Photoshop® Lightroom® 1.2 お読みください

Adobe® Photoshop® Lightroom® 1.2 をご利用いただき、ありがとうございます。この文書には、最新製品情報、アップデート、およびトラブルシューティング情報が記載されています。

必要システム構成

ソフトウェアのインストール

シリアル番号

プログラムに関する一般的な情報

Lightroom 1.2 の新機能

Lightroom 1.2 と Adobe Photoshop Camera Raw の連携

サポートについて

その他のリソース

必要システム構成

Windows

- ・ プロセッサ：インテル® Pentium 4
- ・ OS：Microsoft® Windows® XP (Service Pack 2) 日本語版、または Windows Vista™ Home Premium、Business、Ultimate または Enterprise Edition 日本語版
- ・ RAM：768 MB (1 GB 以上を推奨)
- ・ ハードディスク：1 GB の空き容量のあるハードディスク
- ・ メディア：CD-ROM ドライブ
- ・ ディスプレイ：1024 x 768 のモニタ解像度

Macintosh

- ・ プロセッサ：PowerPC® G4、G5 またはインテル® プロセッサ
- ・ OS：Mac OS X v.10.4 日本語版
- ・ RAM：768 MB (1 GB 以上を推奨)
- ・ ハードディスク：1 GB の空き容量のあるハードディスク
- ・ メディア：CD-ROM ドライブ
- ・ ディスプレイ：1024 x 768 のモニタ解像度

ソフトウェアのインストール

1. Lightroom がインストールされているコンピュータの場合
 - Lightroom 1.2 アップデートをアドビの Web サイト (<http://www.adobe.com/jp/downloads/updates/>) からダウンロードします。
 - フォルダを開いて Adobe Photoshop Lightroom (Windows または Macintosh) をダブルクリックし、画面の指示に従います。
2. Lightroom がインストールされていないコンピュータの場合
 - アドビの Web サイトから、最新版の Lightroom がダウンロード可能となっています。Lightroom 1.2 アップデートをインストールする前に Lightroom 1.0 をインストールする必要はありません。<http://www.adobe.com/jp/downloads/updates/> から最新版の Lightroom 1.2 をダウンロードして、インストールを続けてください。
 - フォルダを開いて Adobe Photoshop Lightroom (Windows または Macintosh) をダブルクリックし、画面の指示に従います。

シリアル番号

1. シリアル番号は、CD カバーの背面に記載されている 24 桁の英数字（例：0000 0000 0000 0000 0000 0000）です。オンラインまたはダウンロード販売（ESD）で購入した場合および体験版 CD から購入した場合、シリアル番号は、オンラインストアのレシートページと、確認電子メールの両方に記載されます。この番号は、Photoshop Lightroom のインストール時に必要となります。
2. シリアル番号が正しく受け付けられない場合は、カスタマーサービス（0570-067337 または 03-5350-0407）までご連絡ください。

プログラムに関する一般的な情報

サポートされているファイル形式

- ・ JPEG
- ・ TIFF (8 ビット、16 ビット)
- ・ PSD (8 ビット、16 ビット)
- ・ DNG
- ・ RAW (サポートされている RAW ファイルについては、<http://www.adobe.com/jp/products/photoshop/cameraraw.html> を参照してください)

新たに追加されたサポート対象 RAW ファイル形式

キヤノン	EOS 40D
リーフ	Aptus 17
リーフ	Aptus 54s
リーフ	Aptus 75s
オリンパス	E-510
パナソニック	DMC-FZ18
ペンタックス	K100D Super
Phase One	P 20 +
Phase One	P 21 +
Phase One	P 25 +
Phase One	P 30 +
Phase One	P 45 +
ソニー	α700

サポートされていないファイル形式

- ・ CMYK ファイル
- ・ 合成画像なしで保存された PSD ファイル（「互換性を優先」を設定することなく保存された PSD ファイル）
- ・ 幅または高さが 10,000 ピクセルより大きいファイル
- ・ ビデオファイル（特にデジタルカメラで撮影されたビデオファイル）

Lightroom 1.2 の新機能

Lightroom 1.2 では、以下の問題が修正されました。

- ・ Lightroom 1.1 で、ユーザが指定した並び順を含むカタログを他のカタログに読み込めなかった問題
- ・ Lightroom 1.1 (Windows) で、場合によって画像のサムネールではなくグレーのボックスが表示された問題
- ・ Lightroom 1.1 の環境設定で、メタデータを XMP に自動的に書き込むように設定すると、オフライン画像に無制限に書き込みが試行され、パフォーマンスの大幅な低下を引き起こした問題
- ・ ソースフォルダの順序を変更するときに、クイックコレクションから画像が紛失する問題
- ・ 250 MB 未満のドライブにカタログを書き出せなかった問題
- ・ Lightroom 1.1 を、Case Sensitive HFS+ (Journaled) ボリュームなどのケースセンシティブなボリュームにインス

- ・ トールした場合、Macintosh で Web モジュールを使用できなかった問題
- ・ Linux SMB ネットワークボリュームへ書き出しを行うとエラーが発生した問題
- ・ ショートカットキー J を使用して表示オプションを変更すると、グリッド表示のスクロール位置が維持されなかった問題
- ・ イメージ番号とイメージ数のトークンが、スライドショーモジュールで適切に表示されなかった問題
- ・ Windows で、場合によってはメタデータパネルが適切に表示されなかった問題
- ・ Macintosh で、256 MB ATI グラフィックカードを搭載する 30 " LCD モニタの場合、スライドショーが適切に表示されなかった問題
- ・ Lightroom 1.1 の Web モジュールの書き出し機能を使用したときに、著作権タグがプレビューと同じ位置に配置されなかった問題
- ・ Windows の自動取り出し機能を使用したときに、カードだけでなくカードリーダーも排出された問題
- ・ ベイヤーパターン (Bayer Pattern) センサを搭載するすべてのカメラでの、ノイズ軽減調整の問題。RAW データのモザイク解除段階で適用されていた、ベースポイントのノイズ軽減が削減されました。その結果、Lightroom 1.2 で輝度ノイズ軽減をゼロに設定した画像には、Lightroom 1.1 で同じ設定を適用した画像よりも多くのノイズが現れますが、Lightroom 1.0 での同じ設定の画像よりもノイズが軽減されます
- ・ 1:1 プレビューが、Lightroom の環境設定で設定したタイミングで破棄されなかった問題
- ・ 読み込み後に 1:1 プレビューを作成しようとしたときに、一連の画像すべてのプレビューが作成されなかった問題

Lightroom 1.2 と Adobe Photoshop Camera Raw の連携

Lightroom と Photoshop Camera Raw には、RAW に対応しているすべてのアプリケーションで処理の一貫性と互換性が確保されるように、同一の画像処理テクノロジーが搭載されています。RAW に対応しているアプリケーションには、Photoshop CS3、Photoshop Elements 4.01 for Macintosh、Photoshop Elements 5.0 および Premiere Elements 3.0 for Windows などがあります。

Photoshop Camera Raw 4.2

アドビアプリケーションにおいて Lightroom 1.2 の現像モジュールの設定との互換性を確保するには、Camera Raw 4.2 プラグインへアップデートする必要があります。Photoshop CS3 のユーザは、ヘルプメニューに表示されるアップデートツールを使用して、Camera Raw プラグインを自動的にアップデートできます。Camera Raw 4.2 プラグインは、アドビの Web サイト (www.adobe.com/jp/products/photoshop/cameraraw.html) にアクセスして手作業でダウンロードおよびインストールすることもできます。インストールの手順には厳密に従ってください。

Camera Raw 4.2 との Lightroom 設定の共有

初期設定では、Lightroom の現像モジュールの設定は、Lightroom のデータベースに保存されます。Lightroom の現像設定を Camera Raw 4.2 でも表示させるには、そのファイルの現像設定が XMP メタデータに書き込まれている必要があります。このメタデータは、RAW ファイルの現在の画像ディレクトリの XMP サイドカーファイル (ファイル名.xmp) に保存されるか、DNG ファイル内に直接保存されます。画像を最新の現像設定で更新するには、ライブラリモジュールを選択し、対象の画像を選択します。Command または Ctrl+S キーを押して設定を XMP メタデータに保存します。

Camera Raw 4.2 での Lightroom の設定の表示

Lightroom と Camera Raw を連携させる前に、Camera Raw の環境設定を「画像設定の保存先: サイドカー ".xmp" ファイル」に設定してください。初期設定では、Camera Raw は Lightroom の現像モジュールで設定した画像の調整と同じように表示します。

Lightroom での Camera Raw の設定の表示

以前のバージョンの Camera Raw で編集された RAW ファイルは、Lightroom に読み込まれた後も、まったく同じように表示されます。注意: これらのファイルは、Lightroom が以前の編集内容を認識できるように、環境設定が「画像設定の保存先: サイドカー ".xmp" ファイル」に設定されているときに編集されていなければなりません。Lightroom に読み込まれた後に Camera Raw で編集されたファイルは、メタデータメニューから、「メタデータをファイルから読み込む」を選択して Lightroom で更新することができます。

Camera Raw と Lightroom に関する補足事項

- ・ Camera Raw は、Lightroom のライブラリモジュールのメインの画像に適用されている現在の設定のみを読み取りま

す。仮想コピーとスナップショットでの調整は、Camera Raw 4.2 では表示または使用できません。

サポートについて

アドビカスタマーサービス

ご購入前のアドビ製品に関するお問い合わせ、お電話による製品のご注文、アドビストアに関するお問い合わせや、ユーザ登録、ご購入後のロック解除手続きなど、テクニカルサポート以外のお問い合わせについて提供しております。お問い合わせ方法につきましては、アドビホームページ (<http://www.adobe.com/jp/>) 内の「お問い合わせ」からご確認ください。

サポートプランとテクニカルリソース

サポートプランやトラブルシューティングリソースなどを含む製品の技術的なサポートが必要な場合は、<http://www.adobe.com/jp/support/> を参照してください。無償のトラブルシューティングリソースには、アドビのサポートデータベース、ユーザフォーラムなどがあります。

その他のリソース

オンラインリソース

デザインセンター (www.adobe.com/designcenter)

Copyright © 2007 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe, Lightroom and Photoshop are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. Windows is either a registered trademark or a trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. Mac is a trademark of Apple Inc., registered in the United States and other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

<AdobeIP#0000383>

08/13/2007